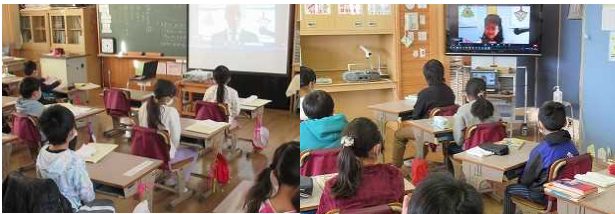




# 野木小だより

令和3年2月10日  
第10号  
野木町立野木小学校

## 3学期はまとめの学期



コロナ禍ですが、無事に3学期がスタートしました。2学期終業式同様に、リモート会議システムを使って、放送室から各教室に映像と音声を配信し、児童が1か所に集合しない形をとった始業式でした。代表児童の皆さんの3学期の抱負は、全員素晴らしいものでした。

## 全学年 書写指導

昨年12月16  
・17日に須田先生をおよびしての書写指導が全学年でありました。須田先生は本校に教えに来て20年以上経つそうです。分かりやすく丁寧に教えていただけるので、児童たちの文字は見る見る上達していきます。1月14日には書き初め会が行われ、全学年ご指導をいただきました。1月25日には6年生に指導していただきました。卒業を前にして、好きな文字1文字を書きました。そして



2月18日は2年生に指導していただき今年度は最後となります。ありがとうございました。

## JAおやま様よりいちごの贈呈がありました

1月25日に野木町役場公室にて、JAおやま様よりいちご提供事業寄贈式があり、野木小学校が町内小中学校の代表としていちご「とちおとめ」を受け取りました。参加したのは6年生給食委員3名で、感謝状を贈呈し、感謝のことばを発表しました。きちんとした態度で参加できました。いただいたいちごは1月28日（木）にいちごジャムとして提供されました。



## 給食週間がありました

1月25日（月）から1週間校内給食週間がありました。我が国における学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていきましたが、戦争の影響などによって中断されました。昭和22年12月24日に、東京都

内の小学校でLARA（アジア救済公認団体）からの給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日を学校給食感謝の日と決めました。昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」としました。

全国で900万人以上の児童生徒が毎日食べている給食。その献立は、「学校給食摂取基準」に基づき、管理栄養士の資格を持つ栄養教諭等により考えられています。学校給食のナトリウム（食塩相当量）は、1日の目標量の1/3未満を基準としています。給食を食べると薄味に感じることもありますが、それは濃い味付けに慣れてしまっているからかもしれません。給食では、「だし」を取って食材のうまみを引き出すことにより、ナトリウム（食塩相当量）を抑えるなどの工夫も行っています。

野木小ではお昼の放送で、給食週間についての話、調理員、栄養士さんの紹介、児童から感謝のお手紙の朗読、作品入賞者紹介、献立コンテスト結果発表がありました。毎日安心・安全な学校給食を提供していただいています。給食に携わっている全ての人たちに感謝いたします。

### **GIGAスクール構想の準備が進んでいます**

新型コロナウイルスの感染症の対応のために、前倒しでGIGAスクール構想の実現に向けて準備が進んでいます。来年度から一人1台のタブレットの使用ができるように、現在町でも取り組んでいるところです。教職員もタ

ブレットを使って指導できるように研修会を2回実施しました。新しいソフトを活用できるようにし、これからの授業に生かしていきます。

### **来入児一日入学がありました**

2月3日に来入児の一日入学がありました。新1年生は19名入学予定です。元気に返事ができました。新型コロナウイルスの感染症対策のために、在校生と過ごすことはできませんでしたが、自己紹介やお絵かき、手遊びなどを体験しました。最後に登校班で在校生・保護者と一緒に下校しました。

### **第2回学校評価結果をお知らせします**

本校では、学校教育目標を達成するために4つの努力点で16の重点項目を設け、数値指標を掲げて教育活動に取り組んでいます。その評価は年に2回実施し、今回は第2回にあたり、児童、教職員に加え保護者と地域の皆様にご協力いただきました。

保護者の皆様・地域の皆様にこの紙面で簡単にご報告させていただきます。※以下の表では、各設問4段階の回答のうち「よくあてはまる」「ややあてはまる」を選んだ人の割合が数値指標を達成できれば○、達成できなければ△としました。

**【努力点1】 行動しよう 《つよく》**

**心身ともにたくましい子どもの育成**

(数値指標)	児童	教職員	保・地
からだを使った遊びや運動 (90%)	○	○	△
好き嫌いをしないで食事 (90%)	○	△	△
うがい・手洗い・歯みがき (90%)	○	○	○
安全な生活 (交通安全・避難訓練) (90%)	○	○	△

学校においては休み時間等に児童自ら進んで外遊びをする姿が多く見られました。食事の好き嫌いについて、児童なりに頑張っているようです。引き続き食育の充実を図ります。安全面では、交通安全・避難訓練ともに毎回方法を変えて取り組んでいます。毎日の登下校でさらに交通安全を意識させていきたいと思えます。

### 【努力点2】 見つけよう 《あかるく》

#### 思いやりのある心豊かな集団づくり

(数値指標)	児童	教職員	保・地
あいさつ・言葉遣い (90%)	○	△	△
互いを思いやる行動 (90%)	○	○	○
自分のよいところ・得意なこと (90%)	△	○	△
楽しく学校に登校 (90%)	○	○	○

あいさつ・言葉遣いに関する教職員・保護者地域の方の評価は今年も指標を達成できませんでした。保護者による声掛けボランティアの反省では、あいさつができていないところと地域によってとらえ方はまちまちです。働きかけ方など、今後も工夫改善を図ります。

自分のよいところに関しては、指標を下回りました。どの子ども自己肯定感をもてるよう、よさに気付かせる周囲

からの声掛けが望まれます。

### 【努力点3】 深めよう 《いきいきと》

#### 分かる授業を通した確かな学力の保障

(数値指標)	児童	教職員	保・地
自分の考えや思いを表現 (90%)	△	○	△
家庭学習 (宿題・自主学習) (90%)	○	○	△
読書 (読書が好き) (90%)	△	○	△
授業の内容を理解 (90%)	○	○	△

自分の考えや思いを表現については、授業を通して思考力・表現力等をつけさせるよう指導していきたいと思えます。家庭学習の習慣形成はとても重要です。毎日少しずつでも机に向かえるよう、宿題や自主学習の課題の出し方についてさらに工夫を図ります。

毎朝10分間の読書の時間では、どの子ども集中して読書を楽しんでいます。引き続き家でも本に親しめるよう呼びかけていきます。

### 【努力点4】 つながろう 《連携》

#### 家庭や地域、関係諸機関との連携による開かれた学校づくりの推進

(数値指標)	児童	教職員	保・地
各種たより、連絡帳 (90%)	○	○	○
学校支援ボランティア (90%)	△	△	○
家の人に学校のことを話す (90%)	△	○	○
一日日記・家庭との連携 (90%)	○	○	○

コロナ禍であったため、学校支援ボランティアの方との関わりは大幅に縮小せざるを得ませんでした。そのような中でも学習活動に関わっていただいた皆様のご協力に感謝します。

学校のことを家の人に話すことについて、会話の機会を意図的に設けてくださっているのではないかと推測されます。

連絡帳への一行日記を継続することで、書く力が付いてきています。その内容をもとに学校での様子についてご家庭でも話題にし、お子さんとの会話を増やしていただけるとよいと思います。

今後とも様々な連携を進め「地域とともにある学校」の推進を図っていきたいと考えています。

### 地域の皆様からの温かいご意見 ありがとうございました

学校評価自由記入欄には、地域の皆様からのご意見も寄せられましたので主なものをご紹介します。

- 1年生を気遣うことばが聞かれた。
- 楽しそうに学校の様子を話してくれた。
- とてもよく回覧版で回ってくるので楽しみです。(学校だより)
- 安全な生活やあいさつは永遠の課題ですが、大多数の子はできているように感じます。
- 雨のため延期された持久走大会でしたが、都合がつき参観させていただきました。苦しさを克服しながら走り続ける子どもの姿に思わず大声で声援を送ってしまいました。
- ひまわりパトロール隊(見守り)の活動に参加させていただき、もう少しで7年目に入ります。お陰様で一日も休みなく無事ボランティアを続けることができました。子どもたちは交通ルールをよく守り、相手に優

しく行動していることが目に入ります。また、楽しく学校に通っているようです。

## お知らせ

- 栃木県の緊急事態宣言が解除されました。解除されても、大きく事態は変わっておりません。2月に予定しておりました授業参観は中止いたしました。今後の行事について、概要をお知らせします。
- 6年生を送る会(児童会行事)…3密を避ける人数や方法で実施予定。
- 卒業式…来賓の出席なし。保護者は2名までの参列。座席は間隔を空ける、窓を開けて換気する等の感染防止対策を講じて挙行予定。